

イベント情報

※イベントの詳細は各施設にお問合せください。

泉屋博古館

シリーズ 二条城行幸図屏風を読む！

- ①服飾史の視点から 9月20日(日) 山川暁(関西学院大学教授)
- ②絵画史の視点から 9月27日(日) 実方葉子(泉屋博古館学芸部長)
- ③歴史学の視点から 10月4日(日) 林大樹(京都芸術大学等非常勤講師)

※いずれも13:30～15:00

会場	泉屋博古館 講堂
参加費	1200円(入館料を含む)
定員	各回75名
参加方法	事前申込制(web申込み/8月5日10:00から受付開始)

現地ツアー

「寛永行幸の道を歩く―御所から二条城へ」

9月6日(日) 9:30～11:30

講師	泉屋博古館学芸員、二条城学芸員
会場	京都御苑出発
参加費	3000円(入城/入館料を含む)
定員	20名
参加方法	事前申込制(web申込み/8月5日10:00から受付開始)

泉屋博古館・NPO碧雲カフェ共催

「寛永文化と小堀遠州」 9月13日(日) 10:30～12:00

講師	谷晃(野村美術館館長)
会場	泉屋博古館 講堂
参加費	無料(ただし入館料1000円[団体割引]が必要)
定員	30名
参加方法	当日先着順

京都文化博物館

記念講演会 9月25日(金) 13:30～15:00

講師	山口和夫(東京大学史料編纂所教授)
会場	京都文化博物館 別館ホール
参加費	無料(ただし、特別展「寛永 太平がはぐむ美」の入場券(半券可)が必要)
定員	150名
参加方法	当日先着順(事前申込不要)

学芸員によるギャラリートーク

10月16日(金)、11月13日(金) 各日18:30～(30分程度)

会場	京都文化博物館 4・3階展示室内
参加費	無料(ただし、当日の特別展「寛永 太平がはぐむ美」入場者に限ります)
参加方法	事前申込不要

二条城展示収蔵館

「ニコニコ美術館二条城生配信」

9月7日(土) 17:00～

視聴方法	「ニコニコ美術館」で検索 もしくは右記QRコードより読み取り
------	-----------------------------------



相国寺承天閣美術館

記念講演

「江戸時代の宮中法会と相国寺」

8月29日(土) 14:00～15:30(13:30開場)

講師	佐藤一希(名古屋大学准教授)
会場	相国寺承天閣美術館 2階講堂
参加費	無料(当日の拝観券が必要)
定員	80名
参加方法	当日先着順

有斐斎弘道館

特別お茶席体験

10月7日(水)、10月14日(水) 9:30～10:10

会場	有斐斎弘道館
参加費	6000円(一般鑑賞券含む)
定員	各回8名
参加方法	完全予約制

お庭手入れ体験と呈茶

10月3日(土)、10月10日(土) 9:00～10:00

会場	有斐斎弘道館
参加費	2500円(一般鑑賞券、菓子・抹茶付き)
定員	各回10名
参加方法	完全予約制

八幡市立松花堂庭園・美術館

佐川田昌俊記念講演・記念茶会

「寛永文化 ― 佐川田昌俊と松花堂昭乗を中心に」

10月31日(土) 13:30～

講師	渡辺憲司(立教大学名誉教授)
会場	松花堂美術館 講習室
参加費	5000円 ※記念講演と記念茶会がセットになります。 それぞれ単独でのご参加はできません。あらかじめご了承ください。
定員	65名
参加方法	事前申込制 佐川田昌俊記念講演・記念茶会実行委員会事務局 (070-5689-3311・平日13:00～18:00)

関連講座

「建築史家から見た

寛永という時代 ― 戦国時代から泰平の世へ ―」

11月21日(日) 13:00～

講師	旭堂南龍(上方講師)、平井俊行(松花堂庭園・美術館館長)
会場	松花堂美術館 講習室
参加費	1000円(庭園・美術館共通券付き)
定員	70名
参加方法	事前申込制 京阪ホールディングス京阪沿線魅力再発見係(06-6944-2542)

関連講座

「建築史家から見た

寛永という時代 ― 石清水八幡宮と松花堂昭乗 ―」

12月5日(土)

講師	平井俊行(松花堂庭園・美術館館長)
会場	松花堂美術館 講習室

寛永行幸四百年祭実行委員会主催イベント

■9月5日(土)

記念式典 記念講演

講師	熊倉功夫氏(MIHO MUSEUM館長)
場所	ANAクラウンプラザホテル京都(京都市中京区堀川通二条城前)

■9月6日(日)

寛永行幸四百年祭記念能

場所	金剛能楽堂(京都市上京区烏丸通中立売上ル)
----	-----------------------

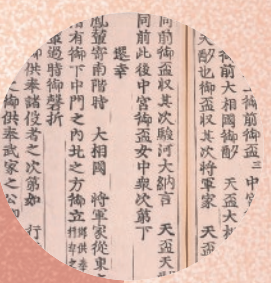
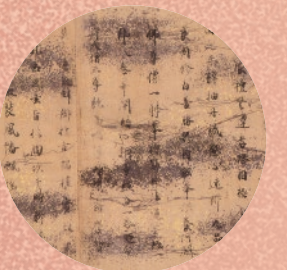
■12月6日(日)

行幸再現行列

場所	京都市内(京都御苑～元離宮二条城)
----	-------------------

寛永行幸とは

寛永3年(1626)9月6日、後水尾天皇が御所(二代将軍)徳川秀忠と三代将軍徳川家光の招きに応じて、二条城へ行幸しました。公家や全国の大名が付き従ったその行列は9000人にもおぼろ、多くの人が見物するなか、御所から二条城へと華麗に進んでいきました。天皇一行は二条城に5日間滞在。善美を尽くした座敷飾りに贅沢な料理、舞楽や蹴鞠、和歌や能楽など最上級のもてなしが尽くされました。そして行幸に沸いた京都からは、伝統と革新を織り交ぜた寛永文化が階層をこえて生まれ、全国へと広がっていきました。



発行 京都・寛永 つながるミュージアム事務局(泉屋博古館)
info@sen-oku.or.jp



協力 寛永行幸四百年祭実行委員会



京都・寛永 つながるミュージアム

寛永行幸四百年を記念した展覧会や作品の展示が各所で行われています。
この機会に、寛永の「本物」を観に出かけてみませんか？
※夏季・年末年始休館、展示替えによる休館、臨時休館などは各施設にお問合せください

① 泉屋博古館

寛永行幸四百年記念 特別展「寛永行幸と花の都の文化びと」
9月5日(土)～10月18日(日)

二条城行幸と、それを契機に花開いた「寛永文化」を徳川和子(東福門院)の視点からみる展覧会です。東福門院の教養と美的感覚を書画や茶道具を通じてたどります。

☎ 075-771-6411
📍 京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24
(京都市バス「東天王町」から徒歩3分)
🕒 10:00～17:00(最終入館16:30)
🗳 月曜(9月21日、10月12日は開館、翌平日休)
🎫 特別展: 一般1200円
🌐 <https://sen-oku.or.jp/kyoto/>

東福門院が愛した京の美



《二条城行幸図屏風》部分
江戸時代(京都市指定文化財 泉屋博古館蔵)

② 京都文化博物館

寛永行幸四百年祭開催記念
特別展「寛永 太平がはぐむ美」
9月19日(土)～11月15日(日)

寛永3年(1626)、徳川秀忠・家光が後水尾天皇を二条城に迎えた寛永行幸は、朝廷と幕府の融和と泰平を象徴する政治儀礼でした。本展では、寛永文化と寛永行幸を軸に、江戸時代初期に花開いた京都文化の粋を紹介します。

☎ 075-222-0888
📍 京都市中京区三条高倉(地下鉄烏丸線「烏丸御池」駅5番出口から徒歩3分)
🕒 10:00～18:00(金曜は19:30まで) ※入場は各30分前まで
🗳 月曜(祝日の場合は翌平日休) 🎫 一般1800円
🌐 <https://www.bunpaku.or.jp/>

美意識が花開く！



《参内図屏風》京都文化博物館(通期展示)

③ 元離宮二条城内 二条城障壁画 展示収蔵館

令和8年度原画公開 シリーズ寛永行幸400年
夏期「将軍、着座す ～(大広間)三の間～」開催中～8月11日(火・祝)
秋期「玉座を飾った障壁画 ～(大広間)一の間・二の間～」
9月10日(木)～11月8日(日)
冬期「華麗なる宴の場 ～(黒書院)一の間・二の間～」
11月19日(木)～2027年1月17日(日)

寛永行幸のために新たに描かれた障壁画。天皇や将軍、公家らが行幸時に使用した部屋の障壁画の原画を間近からお楽しみください。

☎ 075-841-0096
📍 京都市中京区二条通堀川西入二条城町541
(地下鉄東西線「二条城前」駅1番出口から徒歩3分)
🕒 9:00～16:45(最終入館16:00)
🗳 夏・秋期は期間中無休
🎫 100円(未就学児無料)
※別途入城料が必要
🌐 <https://nijo-jocastle.city.kyoto.lg.jp/>

行幸を彩った障壁画を公開！



秋期展示作品: 二の丸御殿(大広間)二の間(松孔雀図)部分

④ いけばな資料館

特集展示「寛永文化と立花」
11月13日(金)～2027年10月末(予定)

池坊専好(二代)によって寛永年間に大成された立花について、当時の絵図を中心に、内裏における立花会の席割図や参加した公家の書状などを展示します。

※11月13日～16日(月)は旧七夕会池坊全国華道展と併催(有料・予約不要・時間変更あり)。3月の「春のいけばな展」も同様。

📍 京都市中京区六角通東洞院西入ル堂之前町248
(地下鉄「烏丸御池」駅5番出口から徒歩3分)
🕒 9:00～16:00
🗳 土・日曜、祝日
🎫 無料(公式サイトから要見学予約)
🌐 <https://www.ikenobo.jp/rokkakudo/highlight/ikebana.html>



《立花彩色図巻》(華道家元池坊総務所蔵)

後水尾天皇が見た立花の絵図を展示

⑤ 相国寺承天閣美術館

後水尾院のゆかりある寺宝を一堂に

企画展「後水尾院の京」 開催中～9月27日(日)
Ⅰ期 開催中～7月26日(日)、Ⅱ期 8月2日(日)～9月27日(日)

寛永文化の主導者、後水尾院は相国寺僧を師として落飾、相国寺派寺院にはゆかりの品が多く残されています。十七世紀の京を彩った華麗な寺宝の数々を展示室でご覧ください。

☎ 075-241-0423
📍 京都市上京区今出川通烏丸東入
(地下鉄烏丸線「今出川」駅3番出口から徒歩8分)
🕒 10:00～17:00(最終入館16:30)
🗳 展示替期間(7月27日～8月1日)
🎫 一般1000円
🌐 <https://www.shokoku-ji.jp/museum/>



《色絵龍田川透かし鉢》尾形乾山作(慈照寺蔵)

⑥ 楽美術館

今ここに450年の菊が咲く

楽歴代 特別展「菊花繚乱」
9月1日(火)～12月24日(木)

菊は寛永の頃から栽培が一般に普及し、元禄頃に大流行します。楽家は流行より早い段階で菊をモチーフとしていました。時代によって変わる菊をご覧ください。

☎ 075-414-0304
📍 京都市上京区油小路通一条下
(京都市バス「堀川中立売」または「一条戻橋」から徒歩約3分)
🕒 10:00～16:30(最終入館16:00)
🗳 月曜(祝日は開館)
🎫 一般1200円
🌐 <https://www.raku-yaki.or.jp/>



《樂家二代常慶 菊之絵赤楽茶碗》(楽美術館蔵)



⑦ 野村美術館

茶の湯に見る寛永文化の真髄

「寛永時代の茶の湯」9月5日(土)～12月6日(日)
[前期 9月5日(土)～10月18日(日)、後期 10月24日(土)～12月6日(日)]

寛永文化のサロンでは、詩歌、連句、連歌、書画、能、華、香などさまざまな文化活動を展開しました。本展では、特に茶の湯について、天皇から町衆まで、各サロンの動向をご紹介します。

☎ 075-751-0374
📍 京都市左京区南禅寺下河原町61
(地下鉄東西線「蹴上」駅1番出口から徒歩約10分)
🕒 10:00～16:30(最終入館16:00)
🗳 月曜(9月21日は休館、ただし10月12日、11月23日は開館、翌火曜休)
🎫 一般1000円
🌐 <https://nomura-museum.or.jp/>



《色絵菊花文水指》(野村美術館蔵)【後期展示】

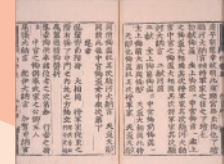
⑧ 京都府立 京都学・歴史館

江戸幕府西へ——寛永行幸を支える淀・伏見

「洛外の寛永行幸 家光の淀、尾張・紀伊藩の伏見」
9月12日(土)～11月8日(日)

本展では、上洛の大動脈・東海道や、将軍家光、尾張・紀伊藩がそれぞれ数ヶ月にわたって滞在した淀と伏見に焦点を当て、寛永行幸の舞台裏を探ります。

☎ 075-723-4831
📍 京都市左京区下鴨半木町1-29
(地下鉄烏丸線「北山」駅1番、3番出口から徒歩約4分)
🕒 9:00～18:00(土日は～17:00)
🗳 祝日、第2水曜
🎫 入場無料
🌐 <https://rekisaikan.jp/>



中宮選御に供奉の武家(尾張大納言(徳川義直)、紀伊大納言(徳川頼宣)、加賀中納言(前田利常))『寛永行幸記』(京都学・歴史館蔵)

⑨ 茶道資料館

伝統の継承と、新時代への呼応

特別展「玄々斎」一裏千家十一代家元 精中宗室百五十回忌記念—(仮) 9月29日(火)～12月6日(日)
[前期 9月29日(火)～11月1日(日)、後期 11月3日(火・祝)～12月6日(日)]

令和8年は裏千家十一代家元・玄々斎精中宗室(1810～77)の百五十回忌にあたります。本展では、玄々斎に関連する茶道具・書画を通して、その功績を紹介します。

☎ 075-431-6474
📍 京都市上京区堀川通寺之内上る寺之内堅町682 裏千家センター内(市バス「堀川寺内」から徒歩3分)
🕒 9:30～16:30(最終入館16:00)
🗳 月曜(祝日の場合は翌日休) 🎫 一般1000円
🌐 <https://www.urasenke.or.jp/text/gallery/>



《絵香合》狩野永納筆 東福門院より拝領(今日庵蔵)

⑩ 泉涌寺宝物館心照殿

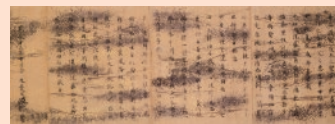
菩提所でであう公と武

「江戸初期の公武と泉涌寺」
9月29日(火)～2027年1月24日(日)

天皇家の葬送儀礼が営まれた泉涌寺は、菩提所として後水尾天皇をはじめ公武の外護を受けました。寛永期ほか江戸時代初期に焦点をあて、寄納された御遺品などの什物をご紹介します。

☎ 075-561-1551
📍 京都市東山区泉涌寺山内町27
(京都市バス「泉涌寺」から徒歩15分)
🕒 9:00～17:00(12月～2月は16:30閉館/最終入館は各30分前)
🗳 第4月曜(法要等により休館あり) 🎫 一般500円(伽藍拝観)
🌐 <https://mitera.org/>

《後水尾天皇宸翰願文》(部分) (泉涌寺蔵)



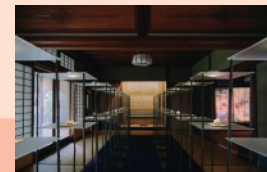
⑪ 有斐斎弘道館

寛永行幸の華麗な物語を京菓子に

「京菓子展2026—寛永行幸絵巻」
10月1日(木)～10月15日(木)

わずか50gに物語を込める芸術、京菓子。今年の京菓子展は「寛永行幸絵巻」を題材に公募作品から選りすぐりを展示。泰平の世の豊かな美意識と文化を現代に映します。

☎ 075-441-6662
📍 京都市上京区上長者町通新町東入ル元土御門町524-1
(地下鉄烏丸線「今出川」駅6番出口から徒歩8分)
🕒 10:00～17:00(最終入館16:30)
🗳 期間中無休
🎫 一般1300円
🌐 <https://kyogashi.jp/>



昨年の展示の様子

⑫ 八幡市立松花堂庭園・美術館

穏やかな世を願う昭乗の作品世界へ

寛永行幸四百年記念 松花堂美術館 令和8年 特別展
「八幡で感じる寛永文化 松花堂昭乗の書画、茶の湯」10月17日(土)～12月6日(日)

[前期 10月17日(土)～11月8日(日)、後期 11月10日(火)～12月6日(日)]

石清水八幡宮の社僧で、後世「寛永の三筆」のひとりにも数えられる松花堂昭乗もまた、寛永文化を代表する芸術家です。昭乗自筆の「松花堂茶会記」をはじめ、ゆかりの書画をご紹介します。

☎ 075-981-0010
📍 京都府八幡市八幡女郎花43-1
(京阪電車「石清水八幡宮」駅または「梅葉」駅から乗車、「大芝・松花堂前」停留所からすぐ)
🕒 9:00～17:00(最終入館16:30)
🗳 月曜(11月23日は開館、24日休)
🎫 一般600円
🌐 <https://shokado-garden-art-museum.jp/>



《雄子図》松花堂昭乗筆、中院通村賛(松花堂美術館蔵)

⑬ 京都市歴史資料館

元離宮二条城と歴史資料館の共同企画

特別展「二条城と江戸開府～慶長から寛永の京の城～」
10月31日(土)～2027年1月17日(日)

江戸時代の開始から寛永行幸の頃までの時代を中心に、二条城の成り立ちと京の城の歴史を、初公開の古文書や絵巻など、史料にもとづいてご紹介します。

☎ 075-241-4312
📍 京都市上京区寺町通荒神口下る松蔭町138-1
(京都市バス「河原町丸太町」から徒歩5分)
🕒 9:00～17:00 (祝日・月曜) 🎫 入場無料
🌐 <https://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000003963.html>



《二条行幸絵巻》部分 (京都市歴史資料館蔵)